



▲頑固な張り紙
もう二度と張らせないぞ

街中を歩いていると、電柱や街路灯に張られている金融や不動産などの広告が目につきます。
真駒内地区や澄川地区ではどうでしょう。街並みをよく見ると、とても少ないことに気付きます。これは、地域の

美しい景観の街に！ 違反広告物を掲示させない

てしないよう心掛ける良い機会です。一人でも多くの人にポイ捨てをしないよう気を付けてもらい、きれいな街にしたいですね」とポイ捨て防止を呼び掛けていました。
区役所も、地域の皆さんと一緒にポイ捨て防止運動を推進するため、「ふれあい街づくり事業」を通じて、のぼりや小旗、啓発品など支援しています。



▲ポイ捨て防止を
呼び掛けます

皆さんがこのような違反広告物を撤去し、掲示させない活動をしているからです。
両地区では、違反広告物撤去推進委員会を組織し、研修を受講した委員が、定期的に違反広告物を電柱などからはがす活動をしています。
真駒内違反広告物撤去推進委員会理事の石田政昭さんは、真駒内地区連合町内会の環境部長も務め、日々地域の環境美化に取り組んでいます。真駒内地区の活動は月に二回。今回の活動は、雨降りにもかかわらず、七人の委員が参



▲雨の日は頑固なのりが
少しはがしやすいです

加。三時間にわたる作業で、張り紙や張り札など百七十八枚を撤去しました。
石田さんは、「雨降りの作業は大変ですが、継続した活動が大切です。乱雑に張られた広告は、街の美観を損ねています。私たちは街をきれいになりたいという一心で活動しています」と話します。
はがしては張られるという繰り返しで、最近では、張り主が分からないものや連絡先のないものも多いそうです。また、しっかりとりの付け替えはがしづらいものも増えてきています。それでも石田さんは、「南区に張り紙をしてもすぐに撤去される、美観を守るために地域全体が違反広告物を許さない、という雰囲気をつくり上げたい」と今後の意気込みを語ります。

さわやかな街に！

私たち一人ひとりができること

誰もがきれいな街に住みたいと思っっているはず。しかし、思っているだけでは環境美化はできません。私たち一人ひとりにできることはどんなことでしょうか？

★ポイ捨てはやめよう！
空き缶やペットボトルなどのポイ捨ては絶対にしない。ごみは必ずごみ箱に捨てましょう。ごみ箱がない場合は、家に持ち帰る習慣をつけましょう。

たばこを吸う人は、歩きながらたばこを吸わない。灰皿の設置されているところで喫煙するか、携帯用の灰皿を持ち歩くなどをして、吸い殻のポイ捨てをやめましょう。

★飼い主がきちんとしつけ、しつかりと後始末を！
家の前や公共の場所をふんで汚され、迷惑している人がいます。
ペットも地域社会の一員。物言えぬペットだからこそ、飼い主の気遣いが必要です。周辺の環境を清潔に保つことは、飼い主の当然のマナー。ふんは自分の敷地内で済ませるようにしつけましょう。

かわいいペットのふんの後始末。散歩などの外出時には、飼い主がごみ袋を持ち歩き、きちんと片付けましょう。

美しくさわやかな街をつくるためには、街をきれいにしようとする気持ちは必要です。ポイ捨てをしない、犬のしつけをしつかりするなど、一人ひとりの協力が大切です。